

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
世界史B	3	1年全類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
****		高校世界史B (山川出版社)	最新世界史図説タペストリー (帝国書院)

科目の到達目標

- ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本史等と関連付けながら理解する。
- ・世界史の学習を通して文化の多様性・複合性について理解を深め、現代世界を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

中間・期末考査の点数を基準として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	オリエンテーション 中学地理の復習	世界史学習の準備をする 世界史学習の基本となる世界地理を再確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートのとり方 ・世界史学習のポイント ・年代表記のルール 等 ・タペストリー別冊白地図作業帳を利用する 	ノート提出 中間考査
	5	序章・先史の世界 人類の進化と文明の誕生 第1章 オリエントと地中海世界 メソポタミアとエジプト 古代オリエントの統一	文明がどのように誕生したのか、人類の進化や道具の発達などから考察する 西アジア、地中海世界においてそれぞれの自然環境に適応した独自の地域世界が形成される過程と、その特色について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・以下、授業中の発問や資料読解、講義解説などを通して、世界史学習を進めていく ・メソポタミア諸国家 ・エジプト統一王国 ・ヘブライ人とユダヤ人 ・パルティアとササン朝ペルシア 	
	6	ギリシア世界 ローマ世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明 インドの古典文明 東南アジアの諸文明	アジアにおいて各地の自然環境に適応した独自の地域世界が形成される過程と、その特色について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシア都市国家 ・ヘレニズム時代 ・共和政ローマ、帝政ローマ ・キリスト教の成立、発展 ・インド古代社会の発展 ・バラモン教と階級社会 ・仏教の誕生と発展 ・ヒンドゥー教の形成 ・東南アジア世界の展開と海の道 	
7					

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	中国の古典文明 第3章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の形成 草原の民・オアシスの民 北方民族と中国の分裂	隋・唐による統一の過程を学ぶ なかで、地域世界間の交流と発展 について考察する	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の歴代王朝 ・諸子百家 ・遊牧民と中国 ・東アジア世界帝国の成立 	夏期課題提出
	10	隋・唐による統一			
	11	第4章 イスラーム世界の 形成と発展 イスラーム帝国の成立 イスラーム世界の発展 イスラーム化の進展 イスラーム文明の発展	アラブ帝国からイスラーム帝国 へと変化する過程を通して、イ スラーム世界の特色と、世界に 与えた影響について考察する	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラームの出現と拡大 ・アラブ帝国とイスラーム帝国 ・イスラーム世界の地方分権化 	
	12				ノート提出 期末考査
三 学 期	1	第5章 ヨーロッパ世界の 形成と発展 西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立	ゲルマン民族の大移動によって 諸地域世界の交流と再編が進 み、ヨーロッパ世界が形成され、 拡大、変動していく過程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲルマン人の大移動 ・フランク王国 ・ビザンツ帝国 ・諸民族の動向 ・封建社会の成立 ・ローマ＝カトリック教会 ・十字軍とレコンキスタ ・中世の都市・商業・農村の発展 	
	2	中世ヨーロッパ 中世文化			
	3	第6章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の展開 トルコ化とイスラーム化 東アジア諸地域の自立化 モンゴルの大帝国	モンゴルの征服と拡大を通し て、東西交流の活性化とその後 の世界に与えた影響について考 察する	<ul style="list-style-type: none"> ・宋の統治と南宋の成立 ・モンゴル帝国の成立と解体 	ノート提出 期末考査

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

近代・現代の学習は3年次選択科目で履修できます（1類B型および2類理型を除く）。

世界史学習には多くの人が苦手とする暗記が欠かせません。しかし単なる「語句の記憶」ではなく、歴史の流れや空間的な広がり（地図）の中に事がらを関連付けて理解することが大切です。世界史の学習を通して、皆さんが生きる現在の世界を広い視野から見つめることができるよう、一年間ともに頑張りましょう。